

# NakaNishi ESD通信



環境チームでは、「ABMORI Leaners」「中西ほたるの会」「志賀高原環境学習ツアー」といった学習チームを結成し、山ノ内の志賀高原と中野市西条区にあるほたる川（ほたるの里）などに実際に足を運ぶことで、自然環境や様々な諸問題について学んできました。春・夏の活動に引き続き、秋の活動をご紹介します。

# 志賀高原の 学び

## ■ ABMORI モニタリング

2019年9月29日（日）、ABMORI 育苗プロジェクトモニタリングが行われました。このプロジェクトでは、植樹・モニタリング調査を約10年間続け、十分なデータを取ることで、植樹方法や森林再生の過程を検証します。

今年度も本校から総勢83名の生徒教員が参加し、ABMORI で植樹した木がどれほど成長しているのか調査しました。第1回会場の前山で150本、笠岳で540本、蓮池で300本、今までに植樹された40,000本以上の苗から1,000本を選定して、「種類」「樹高」「樹長」「直径」などを記録しました。

植樹されたばかりの会場では、調査対象の木がすぐに見つかりますが、時間が経っている会場では、雨風でタグが紛失や、周囲の草木の成長が邪魔をしまい、調査対象の木を見つけることが難しい場面がありました。また、第1回会場の前山では木が1m以上に育っており、あと数年後には測定できなくなるのではないかと思うほど森ができてきていました。

今回のモニタリング活動を通して、測定した木々の種類や、葉、幹の特長を知り、森林ができていく過程を見るなど、貴重な経験をすることができました。（特にトウヒの事は忘れないことでしょう）これからも、中野西高生の活動としてその経験を伝え、繋いでいくてください。



## ■ たかまがはら 高天ヶ原湿原再生プロジェクト

10月20日(日)、高天ヶ原湿原再生イベントに30名が参加しました。このイベントは『志賀高原・高天ヶ原やなぎらんの会』が行っている高天ヶ原湿原の保全活動です。開会式に続いて信州大学志賀自然教育園の水谷先生から「なぜ湿原を守るのか」を学びました。

何万年もかけてできた湿原は壊れやすい生態で、葎や外来種などにより希少な在来植物が減少してしまうそうです。寒冷地では枯れた葎も分解が進まないため人の手によって除去作業が必要だということを学び、撤去作業を行いました。

終了後、参加者全員で記念撮影！また、地元中野市三好町にある中村屋パン屋さんの頭脳パン（特大サイズ）が配られました。心もお腹も満たされて解散となります。これらの様子は <http://inuwashu-club.blog.jp/> (部活動公式 Blog\*ESD 倶楽部)



### ESD とは？

Education for Sustainable Development / 持続可能な開発のための教育

ESDは地球規模の課題を自分のこととして捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。